

第4回理事予定者会議 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所
2021年度 第4回 理事予定者会議議事録

日時:2020年12月14日(月) 19:00~

場所:尾道国際ホテル

(出席者)安楽城大作・今岡正英・加藤雄大・島田元太・吉田雄太・高升純・内海洋平・森川陵・大池慎三・沼田剛志・島田昌広・岡本大輔・山本恭平・高山敦好・吉田嵩正・小西琢真・中島裕一郎・歌一行・水野春樹・加藤雅崇

(欠席者)加度亮平・高橋建太

(遅刻)岡本正也

(早退)なし

次第

1. 開会(歌一行)
2. 点鐘:(安楽城大作)
3. JCI クリード唱和:(沼田剛志)
4. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和:(高山敦好)
5. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和:(中島裕一郎)
6. 出席者の確認:(加藤雄大)
7. 配付資料の確認:(歌一行)
「災害ボランティア養成講座(入門)の開催」
「一般社団法人尾道青年会議所 新型コロナウイルス感染の拡大防止を鑑みた活動ガイドラインについて」
を紙資料で配付。
8. 議事録署名人並びに議事録作成者の指名:(安楽城大作)
9. 議題の確認:(歌一行)
10. 理事長予定者挨拶:(安楽城大作)
本日も多くのメンバーにお越し頂きまして、ありがとうございます。
本日が予定者としては最後となり、次回からは理事会がスタートします。
本来であればそのことについて話そうかと思っていたのですが、それよりも言わないといけないことが出てきました。
今回はそちらのご報告と、なぜそうなったのかをお伝えしたいと思います。
ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、新年例会についてなのですが、協議段階では飲食ありで考えておりましたが、現在のコロナの情勢を鑑みて、飲食の提供は無しという判

第4回理事予定者会議 議事録

断を致しました。

その上でどういった新年例会にするかということを担当委員会の方に考えて頂きました。時間が限られておりますが、本日審議上程をして頂き、皆で色々考える場にしたいと思います。

正副理事会の挨拶時に、飲食無しでやらせて欲しいと、私の方からお願いしたのですが、そういう判断を下すに至った背景を説明させて頂ければと思います。

先週の日曜日に、本年度の事業で沼田委員長の委員会の方がバルーンリリース事業を行いました。

私も参加させて頂き、色々と見させて頂きましたが、すごく良い事業でした。

コロナ禍で色々難しいことはありますが、参加してくれた人たちの喜んでる顔を見ることができました。

やはり青年会議所というのは街の人に喜んで貰うことをする団体なのだと改めて思いました。

そう思ったときに、新年例会というのは新年一発目の事業ではありますが、あくまでも内々の事業です。

万が一新年新年例会でクラスターの発生という事態になってしまうと、その後の事業はほとんどできなくなるだろうと思います。

「であれば中止にしたほうが良いのでは」という意見もあるかとは思いますが、飲食をしないだけで感染確率は大分減ると思いますので、そういう形で行って欲しいとお願いをしました。

逆に言うと、街へ出て事業はできるだけやって欲しいという想いがあります。

勿論、状況を見て、対策は考えながらにはなりますが、できるだけ事業ができる体制で来年は動いていきたいと思っております。

私が理事長予定者になってから、「基本的には全てを実施する方向で動く」ということを言い続けてきましたが、何が一番大切なのかを考えたときに「街の人に喜んでもらえる」ことが一番大切だろうと思いました。

その優先順位の中でこれからいろんな事の判断をしていきたいという想いをお伝えしたいと思い、ここでご報告とさせて頂きます。

「新型コロナウイルス感染の拡大防止を鑑みた活動ガイドライン」も提出しております。加藤事務局長予定者を中心に作成して頂きましたが、そこに「事業を行うか否かの判断基準」も載っております。

その上でガイドラインを参考に、やるのかやらないのかという判断を下していきたいと思っています。

あくまでも参考資料であり、状況によって変えていく必要があると思いますので、皆さんも個人的に何か想いがあれば、私や事務局の方に言ってもらえれば、それらも加味して正副理事会で判断していきたいと思っています。

雑駁な話になりましたが、改めて言いたいのは「来年、事業をやっていこう！」ということです。

そのためにどうすればいいか、何か考えや思いがあれば是非その都度お話して頂いて、やっていきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

11. 直前理事長予定者挨拶：(加度良平)

欠席のため割愛

12. 理事長予定者報告：(安楽城大作)

資料にて確認

13. 委員会報告：

【社会開発室】(島田元太)

「未来ビジョン委員会」(内海洋平)

委員会報告は記載の通りです。

現在、持続可能事業を具体的に詰めていっております。

全体事業に関しても、案を出し始めています。

「社会開発委員会」(大池慎三)

委員会報告は記載の通りです。

新年宴会についてメンバー一丸となって頑張っています。

【指導力開発室】(吉田雄太)

「地域教育実践委員会」(島田昌広)

委員会報告は記載の通りです。

3月例会についてと、家族会について話し合いを進めています。

「組織活性化委員会」(山本恭平)

委員会報告は記載の通りです。

2月例会について具体的に話しています。

【JC 運動推進室】(高升純)

「拡大研修委員会」(吉田嵩正)

委員会報告は記載の通りです。

現在、仮入会員が1名です。

「総務広報委員会」(小西琢真)

委員会報告は記載の通りです。

現在、紙誠様よりあがってきたJC手帳の校正作業をメンバー全員で行っています。

14. 審議事項：(安楽城大作)

第1号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 委員会構成図(案)に関する件
資料参照(1-1,1-2)

こちらに関してですが、新旧理事会に出席された方はご存じかとは思いますが、馬原美晴さんが入会されるということと、退会される方が3名いらっしゃいます。

それに伴って組織図が変更になりますので、再度ご承認を頂きたいと思います。

組織図に関しては、色々なバランスを考えながら決めましたので、今回の変更で人数に関してはアンバランスな部分が生じてしまいましたが、その他の部分も考えての組織図変更になっています。

何か意見等あれば伺いたいと思います。

*全会一致で承認。

第2号議案 活動記録の整理・保存及び広報活動の実践【情報通信技術(ICT)を活用】
事業計画(案)予算(案)に関する件

(小西琢真) 資料読み上げ(資料2-1,2-2,2-3 参照)

一点変更がありまして、収支予算明細書(資料2-5 参照)の中の、事業費支出の広告費支出の作成費の「ウェブサイト更新予備費」が10万円で計上されていますが、前回協議の時には「広報対比検証費」としてあげていました。

HP等の更新等もこちらから使いたいので、このように変更させて頂きました。

以上です。慎重なる審議をお願い致します。

*全会一致で承認。

第3号議案 活動記録の整理・保存及び広報活動の実践【JCライフ発行】事業計画(案)
に関する件

(小西琢真) 資料読み上げ(資料3-1,3-2 参照)

以上です。慎重なる審議をお願い致します。

第4回理事予定者会議 議事録

*全会一致で承認。

第4号議案 全般的な庶務の遂行【会員手帳の作成】事業計画（案）に関する件

（小西琢真）資料読み上げ（資料4-1,4-2 参照）

以上です。慎重なる審議をお願い致します。

*全会一致で承認。

第5号議案 全般的な庶務の遂行【各種表彰】事業計画（案）予算（案）に関する件

（小西琢真）資料読み上げ（資料5-1,5-2 参照）

協議段階から変更点が1点ございまして、感謝状の「出向者」に関してですが、前回は監事として出向されていた山北さんの名前が載っていました。

委員会として協議したところ、委員長として出向されていた村橋さんに代表として感謝状を贈らせて頂きたいと思います。

村橋さんは「中国地区広島ブロック協議会安全保障確立委員長」として頑張ってこられたので、是非村橋さんに贈りたいという思いから変更させて頂きました。

以上です。慎重なる審議をお願い致します。

*全会一致で承認。

第6号議案 例会・総会の設営及び運営 事業計画（案）予算（案）に関する件

（小西琢真）資料読み上げ（資料6-1,6-2 参照）

以上です。慎重なる審議をお願い致します。

（高山敦好）

こちらはZOOMでの配信は行う予定でしょうか。

（安楽城大作）

ZOOMでの配信に関しては加藤事務局長予定者の方からお答えします。

（加藤雄大）

本年度の事務局とも連携を取りつつ、ZOOM配信できるように準備は進めています。

集まってる開催ができない事態になった場合は、緊急のZOOM配信ができるように整えて

第4回理事予定者会議 議事録

いこうと思います。

場合によっては緊急のご案内を出し、委員長、副委員長の皆様にもご協力頂きながら周知を行うことになると思いますので、ご協力お願い致します。

(安楽城大作)

今後の例会での Web 配信についてですが、基本的には「やる」という方向で良いのではないかと思います。

この場で毎回、並行して上程をして頂くのは余り良い時間にはならないのではないかと思います。

配信をすることによって予算や内容が変わる場合には、2つのパターンでの上程をお願いしたいと思います。

特に変更が無いようでしたら、基本的に Web 配信はするという認識で副理事長とも相談しながらやっていければと思います。

*全会一致で承認。

第7号議案 新年例会 事業計画(案) 予算(案)に関する件

(歌一行)

これより新年例会の審議に入りますが、先ほど安楽城理事長予定者のご挨拶の中にもありましたように、12月9日の正副理事会において安楽城理事長予定者の方から「会食を伴う新年宴会は見合わせたい」という申し出がありました。

また、昨今の情勢を鑑みてもそのような形で実施する方が良いだろうという判断を下しました。

本来であれば、上程資料に関しても変更した物をあげるべきところではありますが、社会開発委員会の皆さんが一生懸命考えられた内容が、このようにイレギュラーな対応で変更せざるを得ない状況であるため、資料や鑑等は協議であげて頂いた物から変更無しという形を取らせて頂きます。

意見や対応に関しても、協議の際に出た物をそのまま記載しております。

その代わり(8)の審議のポイントに、今回中止、変更になったタイムスケジュール等を記載しております。

その点を皆さんにご理解した上で、会食が無い形での新年例会について話し合っていければと思いますので、よろしくお願いいたします。

(安楽城大作)

協議から1か月、社会開発委員会の方で色々と考えて準備してきたことが、私の判断で

第4回理事予定者会議 議事録

きなくなってしまうことは大変申し訳なく思っております。
作って頂いた上程は、後の参考資料になるのではないかと思いますので、「取り下げる」のではなく、「変更した」という形で上程できればと思います。
それでは上程をお願いします。

(大池慎三) 資料読み上げ(資料 7-1,7-2,7-3 参照)

協議からの変更点ですが、コロナウイルスが拡大している中で広島県の感染者数も増加してきています。

その中で今回の新年例会は、会食を無くし時間を短縮して行うこととなりました。
OB の事業紹介も計画しておりましたが中止となり、終了時間も変更しております。
終了時間の変更については資料 7-8 をご確認ください。

次に、予算の説明をさせていただきます。

会食が無くなったことで、登録料の収入が無くなり収入合計が変わっております。
合計で 354,282 円となっております。

また支出の部ですが、飲食費支出が無くなり、会場支出が 193600 円に変更になっております。

事業予備費支出が 60,266 円となり、合計で 354,282 円となっております。

以上、慎重な審議をお願い致します。

(安楽城大作)

こちらは審議案件になります。本来であれば内容の変更等はできませんが、せっかく皆さんに意見を頂ける場なので、積極的に意見を頂きたいと思います。

そちらを受けてのこの場での変更は難しい場合もありますが、1 月の第一回理事会での再審議という形も可能ですので、意見のある方は是非ともお願い致します。

この上程内容で問題が無いということになれば、可決まで持って行きたいと思います。

よろしくお願いいたします。

本当に特殊な新年宴会になると思います。

わざわざ OB の方々をお呼びして、私が挨拶をし、その他の人の紹介をして終わりということになります。

そういう形でより良くするための意見は是非出して頂きたいと思います。

それではご意見ご質問ありましたら挙手にてお願い致します。

(小西琢真)

OB の紹介が 10 分とありますが、例年であれば名前をお呼びして返事をして頂くのみになっておりますが、今年は他にも何か紹介をしようなど、違う形を考えられたりしていますでしょうか。

(大池慎三)

OB 紹介に関しては例年通りを考えております。

(小西琢真)

今回は会食も無く、OB の方々と話ができる機会が少ないので、OB の方々に了承を得られれば「入会時期」や「卒業年」なども付けて紹介できれば、より現役会員にも親しみが持てるのではないかと思います。

(安楽城大作)

ありがとうございます。こちらに関しては、歌専務予定者から紹介をするというのと、「時間短縮」に重きを置くことも考えられます。

OB 紹介に関しては、内容は考えたいと思います。

(内海洋平)

委員会紹介の時はスライドを映すだけなのか、登壇するのか、イメージ等あれば教えて下さい。

(大池慎三)

委員会理事紹介ですが、司会者が副理事長をお呼びして、副理事長から委員長と副委員長をお呼びする。

その際に両サイドにスライドを映すという形を取りたいと思っています。

その際に一言意気込み等を頂ければと思っています。

その後に委員会の紹介を行う形を考えております。

(岡本大輔)

上程書に関してですが、理事長予定者と専務予定者からもありましたが、今だけ使うわけでは無く将来にも見返される物です。

今回、上程書の方では会食の変更が記載されていないにもかかわらず、予算書、レイアウト、タイムスケジュールの方は変更があるように書かれており、曖昧な上程になっているように見えます。

いつの段階になるかはわかりませんが、整理、修正された方が今後の混乱がないのかなと思いました。

これは意見になります。

(安楽城大作)

第4回理事予定者会議 議事録

ありがとうございます。

こちらに関しては、私の方からこういう形にして欲しいとお願いをしました。

確かに副委員長のおっしゃるとおりではありますので、次に残すことを考えた上で一番良い形を考えたいと思います。

ただ、本来であればこういう形を考えていたというのも一つの参考になると思いますので、事務局で一考し、どうするかご報告できればと思います。

(森川陵)

今回会食が中止になったということですが、時間としては1時間程度の会になることが予定されています。

OBの方々が座って話を聞かれる中で、お茶の1本くらいはあった方が良くないかと思っています。

可能なのであれば国際ホテルさんの方で用意して頂くことができるのであればそうした方が良くないかと思っています。

個人の意見になりますので、参考にして頂ければと思います。

また、OBの方々は安楽城理事長予定者の挨拶を楽しみに来られると思います。

現役会員との交流は今回はありませんが、久々の再会に笑顔がこぼれる、そんな会であると思っています。

ですので、入退場の時は「来て頂いた事への感謝」を忘れず、ここにいる理事メンバーを中心にしっかりお声がけをするべきだと思います。

こちらも意見になります。

(安楽城理事長)

ご意見ありがとうございます。

声かけは勿論やるべきだろうと思います。

お茶の提供も前向きに検討できればと思いますが、予算の変更が必要になりますのでその場合はやはり再審議が必要になってくるのではないかと思います。

(森川陵)

私が事情をよくわかっていない部分があり恐縮ですが、今回、色々と国際ホテルさん側からの要望にも対応した上での開催になりますので、私が申し上げたのは今の予算の会場費の中に、お茶の費用をなんとかいれてもらえないだろうか、という意味で意見致しました。

(安楽城大作)

ありがとうございます。なるべく予算の変更がないように調整したいと思います。

第4回理事予定者会議 議事録

(高山敦好)

これは意見になりますが、これから委員会メンバーに今回の変更を伝える中で、できれば安楽城理事長予定者から「こういう経緯で変更をした」ということをメールか何かで伝えて頂ければと思います。

一年のスタートになりますので、団体としてなるべくズレが生じないようにできればと思います。

(安楽城大作)

ありがとうございます。

どうしてこのような判断にしたかということ、今年になるか来年になるかはわかりませんが、全メンバーに伝えたいと思います。

(大池慎三)

補足になりますが、新年宴会が終わった後に例年であればアフターに行っておりますが、今年はアフターも基本的には行かない方向になりましたので、そちらも報告させていただきます。

(安楽城大作)

例年であれば、アフターで利用させて頂くお店の方々に宴会場に来て頂きお手伝い頂き、新年宴会後にも伺うというのが通例ですが、今回は無しということです。

宴会後に関しては「個別で判断して」ということになりますが、その表現だとうどう捉えて良いのか難しいという方がおられましたら、「辞めて欲しい」という方が表現としては正しいのかなと思います。

もしその他何かありましたらご相談下さい。

(岡本大輔)

資料7-6の概要の方でオープニングが12分という記載がありますが、7-8の次第の方ではオープニングが2分となっております。

ご説明頂ければと思います。

(大池慎三)

7-6の概要の方が誤りです。

理事長挨拶の10分とオープニングの2分が足された数を記載してしまっております。

申し訳ありません。

(島田昌広)

新入会員紹介についてですが、自分の会社の自己紹介を口頭で述べて、入会の動機意気込み

等は全てスライドに載せるのでしょうか。

具体的なイメージがあれば教えて頂きたいと思います。

(大池慎三)

新入会員紹介についてですが、スライドにも自分の会社のPRも載せておりますが、登壇して一言意気込み等も話して貰おうと思います。

司会者が名前を呼んで全員登壇してもらい、一人ずつ話して貰うタイミングでその人のスライドを映すというのを順番に行います。

(高山敦好)

一つ可能であればお願いになるのですが、コロナウイルスの状況によっては新入会員の方が出席できないことも考えられます。

できれば事前に動画を撮っておいたほうが良いと思います。

通例であれば会場に来て挨拶をするところですが、このような状況ですと来られない可能性は十分あり得ますので、そちらに配慮をしておいた方が良いかと思います。

(安楽城大作)

その件に関しては、また委員会で話し合ってもらえればと思います。

よろしくお願いいたします。

その他ご意見ご質問無ければ採決に移ります。

*全会一致で承認。

15. 協議事項：(安楽城大作)

第1号議案 会員拡大の調査・研究・実践 事業計画(案) 予算(案)について

(吉田嵩正) 資料読み上げ(資料8-1,8-2,8-3 参照)

慎重なる協議をよろしくお願いいたします。

(高山敦好)

(3)の背景の部分に、「厳しい経済状況に加え新型コロナウイルスの影響もあり、全国的に拡大活動が難しい状況に置かれています」とありますが、拡大活動との関連性が薄いように感じますが、いかがでしょうか。

(吉田嵩正)

背景についてですが、こちらは今の尾道JCに置かれている状況と、全国的な状況を踏まえて記載しております。

第4回理事予定者会議 議事録

本年度はコロナウイルスの影響で全国的に拡大活動の成果が出ていないこともあり、一文付けさせて頂きました。

(高山敦好)

私の感覚になりますが、コロナウイルスの影響で会員数が実際に減ってしまっているのであれば「拡大をしないといけない」というところに繋がるのはわかるのですが、今回のケースの場合は、こちらに記載する必要性が無いのではないかと思います。その点ご検討頂ければと思います。

(吉田嵩正)

再検討致します。

(山本恭平)

尾道青年会議所全メンバーで LINE グループを構築とありますが、これは 60 名以上で一つのグループ LINE を作るということでしょうか。

そこで情報を共有するのであれば、情報が大量に入ってくると思いますので、その整理、とりまとめが難しいのではないかと思います。

ある程度グループを分けて、吉田委員長予定者の方でとりまとめたほうがより円滑な情報の共有のツールになるのではないかと思います。

(吉田嵩正)

全メンバーでの拡大の LINE グループの作成を考えています。

合同委員会に参加されない方もいらっしゃいますので、そういう方にもしっかり情報共有を行う狙いがあります。

また、情報の過多による混乱を避けるため、資料 8-8 に記載しておるように「拡大以外の情報の投稿」は控えて頂くようお願いしたいと思います。

(山本恭平)

全体での LINE グループを作成し、そこでは拡大以外の情報は流さない方向でやっていくということですが、全体で情報を共有するとなると、他委員会への依頼事項の中にもあるように「個人情報の漏洩」のリスクも高まると考えます。

その辺りのことにも何か対策等あれば、全体での LINE グループを使っでの拡大活動は問題無いかと思います。

そこに関してお考えをお聞かせ頂ければと思います。

(吉田嵩正)

第4回理事予定者会議 議事録

個人情報の管理に関しては、事務局長と各副委員長に責任者としてお願いする形を計画しています。

また、拡大の LINE グループに関しては LINE グループ以外でも「拡大活動リスト」をお配りしたり、個人情報の漏洩にはそれぞれが責任を持って拡大活動に参加して頂く必要があるのではないかと思います。

(内海洋平)

全体での LINE グループに関してですが、こういった情報を流されるのでしょうか。

合同委員会に来られない人に共有したいという風におっしゃられていましたが、それだけ大所帯のグループになると「見るだけ」の人も多いのではないかと予想します。

双方向で活発な情報のやりとりを目指すのか、一方的に情報発信としてのツールを目指すのか、意見をお聞かせ下さい。

(吉田嵩正)

LINE グループの報告内容については、資料8-8の記載にあるとおりになります。

基本的には双方向で情報がやり取りできればと思います。

重複した情報が出てきた場合は削除して頂いたり、対応をお願いする場合もあるかと思います。

見るだけにならないように、委員長、副委員長の皆様にはご協力をお願いし、しっかり活用したいと思います。

(森川陵)

異業種交流会に関してですが、拡大活動においては効果的だと思いますが、コロナ禍で飲食を伴う異業種交流会はどのような形で実施していくのか、お店側とよく話し合っていく必要があるのではないかと感じました。

また、それに伴ってのプレスリリースも行うということなので、よりきちんと説明ができるような対策が必要だと思います。

その辺りに関して、どのようにお考えかお聞かせ願えればと思います。

(吉田嵩正)

異業種交流会についてですが、こういったコロナウイルスの状況がありますので、その都度状況に応じて柔軟に対応していく必要があると考えております。

規模の縮小、延期も選択肢に入れ検討していきたいと思っています。

プレスリリースに関してですが、コロナウイルス対策に関する記載を追加しようと思います。

おっしゃられたように、お店側ともしっかりと話し合い、コロナウイルス対策をして臨みた

いと思います。

(安楽城大作)

異業種交流会に関しては、どの段階で上程をあげるかは毎年議論になっているようです。来年に関しては、このタイミングが良いのではないかとということで今回あげて頂きました。今後、随時報告をあげていただければ良いと思います。先ほどの「プレスリリースをすることでどういう見られ方をするか」などの議論は必要だと思いますので、どういう対策を取ったのかまた報告を頂きたいと思います。

(岡本大輔)

異業種交流会についてですが、私も過去に経験をしています。ただやるだけでは無く、「全員から名刺をもらい」「その全員に入会の意思を問う」くらいできればかなり効果的だと思います。また、来て頂いた方達とただ話すだけでは普通の会食と同じになってしまいます。JC に関するプレゼンテーションをするなどしてアピールできなければ、費用対効果に見合わないのではないかと思います。実施するに当たってはそういった工夫を考えて頂ければと思います。また、前回からの反省点ですが、「頼まれて来ただけ」の人が多くいましたので、そこに対しても何かできないか考えて頂ければと思います。また、コロナ禍なので「実施できない場合の代替案」や「人数が少ない場合での開催」も考えていた方が良いのではないかと思います。

もう一点、拡大活動についてですが、(3)の背景にも記載があるように、「2021 年度含めた3年間で35名が卒業予定」ということで、強い危機感をお持ちだと思います。獲得人数目標35名を目指して頑張って頂きたいと思います。また、拡大活動で一番重要なのは情報だと考えます。すでに持っている情報は拡大の候補者リストにありますが、新規情報の獲得の為にを行うのが「マンダラシート」と「異業種交流会」の2つだけでは少し弱いのではないかと思います。具体的な追加の対策は思いつきませんが、今年の高橋委員長のようにOBへの聞き取り調査等も行って頂ければと思います。

(吉田嵩正)

新規情報に関してですが、各々の人脈を使ってOBの方を中心に協力をお願いして頂ければと思います。私も本年度の高橋委員長と一緒に、拡大活動にご協力頂いたOBの方々へ挨拶訪問に伺い

ました。

自分の関係のある方に情報共有をお願いして回っています。

一人の力には限界がありますので、一人でも多くの方のご協力をお願い致します。

また、目標人数に関してですが2021年から3年間で35名の卒業予定であり、来年度の獲得目標人数は15名を設定しております。

異業種交流会についてですが、新規情報の獲得の大きな主題になってくると思います。

おっしゃられたように、ただの会食会ではなく意義のある会にしたいと思います。

そのためにお願いになるのですが、来られた方が孤立しないようにご対応のご協力をお願いしたいと思います。

過去には十分ケアができず、不快な思いをさせてしまったケースもあったと聞いていますので、来られた方を一人一人大事にして、JCへの入会に繋がられるようにしっかりお話をして頂ければと思います。

(高山敦好)

異業種交流会についてですが、現段階で上程されるのであればコロナ対策は必ず入れておく必要があると思います。

3月、4月には状況が良くなっている可能性もあるかとは思いますが、現段階ではわかりませんので「コロナウイルス対策を取った異業種交流会」を考えてもらえればと思います。もう一点、マンダラシートなのですが過去にはノルマ化されていた年もありましたが、今年はどうされるのでしょうか。

そういった点も含め、吉田委員長予定者の中で「新規情報が具体的にこれくらいの方が欲しい」というものはありますでしょうか。

具体的な数が載っていないので、そういう物があればよりわかりやすいかと思います。

(吉田嵩正)

異業種交流会については、しっかりとコロナウイルス対策を記載したいと思います。

また、マンダラシートについてですが、会員それぞれが1人の新規情報を抽出して頂きたいと思っています。

特に入会年度の浅い方には、より多くの情報を頂けるようお願いしてもらえればと思います。

「各委員会では何人」という物はありませんが、皆さんにしっかりとマンダラシート記入頂いて新規情報を抽出したいと思います。

以前はマンダラシートから10数人の新規情報が取れた事例もあるようなので、しっかり活用したいと思います。

(高山敦好)

マンダラシート 10 数人というのは、先ほど言われた「1 人につき 1 人の新規情報」とかけ離れた数値なので、「69 人の会員がいるから 69 人の新規情報が欲しい」としっかり伝えないと、マンダラシートを書かない人も多く出てしまうと思いますので、明確に記載し説明した方が良いかと思います。

実際に本入会される人は新規情報からの人が多くおられると思いますので、新規情報に注力してもらえればと思います。

(吉田嵩正)

しっかりとご意見参考にさせて頂きたいと思います。ありがとうございます。

(中島裕一郎)

私も拡大の副委員長を経験させて頂きましたので、意見を何点か述べたいと思います。

マンダラシートに関しては、基本的にはあまり出てこないと思っておいた方が良いかと思っています。

というのも、歴の浅い会員の人達には有効ですが、歴の長い会員の人達からは情報があまり出てこない傾向があるためです。

歴の浅い会員の人達から出てこない情報に関しては、OB の方を訪問したり、OB の方が集まれる場所でアンケートを取ったりして情報を集めるのが良いかと思われます。

OB の方々から出てくる情報は、親族や会社関係者の物が多いです。

本年度、高橋委員長が成功されたのは OB の情報を使って。

昨年度、小林委員長が成功されたのは新規の情報使って、でした。

また、新規情報を取り方法としては、マンダラシートの他に「他団体からの情報入手」という方法があります。

「拡大活動をします」というのは中々言いづらいですが、小林委員長は他団体の例会に顔を出したり、事業に顔を出したりしておられました。

また、拡大のチラシを配り際に飛び込みを、工業団地や流通団地で行いました。

そういう風にやれば確実に新規情報が出るわけではありませんが、新規情報はそういう風に足を使わないと難しいです。

OB と新規の 2 方向をどれだけ活用するか、そしてメンバーをどれだけ巻き込むかを、最大限努力して貰うのが良いかと思います。

異業種交流会はこのような状況ですとできるかどうか分かりませんが、私が過去に行った際は「そこから何か繋がったケース」はあまりありませんでした。

小林委員長の報告を参考にして頂ければと思いますが、その場に来られて新しく入会に繋

がったという方より、すでに入会に前向きな方が多かったと記憶しています。

コロナ禍での異業種交流会についての対策を考えるのに時間を割くよりは、申し上げたように「OBとの接触と協力を頂く」こと「他団体も活用しつつ新規情報を集める」、そして「メンバーを動かす」ことに力を割いて頂く方が、確率は上がるのではないかと思います。

(安楽城大作)

議論を聞いていて思ったのですが、今回の上程というよりは「拡大活動のやり方」についての議論になったのかなと思います。

拡大活動について議論できるのはこの場しか無いと思いますので、頂いた意見を取り込んで上程をされるのであれば、そうして頂ければと思います。

活動そのものに対する意見になるので、この場で言い切れないことがあれば、委員長に直接言ってあげれば良いかと思います。

会員減少の非常に厳しい状況があり、拡大活動は全員で行っていかねばならないので、次の審議の時までに、形にしてもらえればと思います。

それではこちらの議案を閉じさせていただきます。

16. 報告依頼事項：(歌一行)

特になし。

17. 連絡事項：(加藤雄大)

(歌一行)

「新型コロナウイルス感染の拡大防止を鑑みた活動ガイドライン」について、加藤事務局予定者より説明して頂きたいと思います。

(加藤雄大)

皆さんのお手元に配布しているガイドラインに関してですが、内容に関してはご一読頂ければと思います。

一番表に記載のあるとおり、本ガイドラインはあくまで指標になります。

ルールとして皆さんを束縛する物では無いということを、前提として捉えて頂ければと思います。

先ほど高山副委員長予定者からも意見がありましたように、来年度はコロナウイルスを配慮した上での事業構築をしていかなければならないと思いますので、安心安全な事業構築の指標として捉えて頂ければと思います。

昨今の状況を鑑みると、1日2日で状況は変わっていきますので、このガイドラインが状況に追いつかないという事態も予想されます。

第4回理事予定者会議 議事録

「こういう内容も入れた方が良いのでは」「こういう内容に変更した方が良いのでは」など、随時ご意見等頂きながらアップデートしていき、前向きな運営の助けになればと思います。
(※本理事会終了後メールにて理事長、直前理事長、監事、理事メンバーにデータ配信)

ここからは事務連絡になります。まず、次回の上程締め切りですが、12月21日(月)の17時とさせていただきます。

タイトなスケジュールですが、正副理事長予定者会議が2日後の23日にあり、資料作成の時間もタイトになっておりますので、期限を守って頂くようお願い致します。

その他3点ございます。

①来年の京都会議についてですが、LOM全体では行きませんので、よろしくお願いいたします。

②ブロック新春会議が1月16日(土)に福山にて開催予定です。

案内は流しますが、こういった状況ですので参加については個々のご判断にお任せ致します。

但し、加度ブロック会長へ応援の意味も込めて登録に関しては全員登録をさせて頂ければと思います。

③配布しております「災害ボランティア養成講座(入門)の開催」についてです。

背景として、尾道市、尾道青年会議所、因島青年会議所、社会福祉協議会で4社協定結んでいるのですが、社会福祉協議会様よりこちらのご案内がありました。

ボランティアの質の向上のために講座への参加の協力依頼が来ております。

1月31日に福祉センターで開催予定ですので、参加できる方はよろしくお願いいたします。
裏面には登録申請書が印刷してあり、基本的には皆様登録頂くように考えています。

取りまとめは大池委員長に行って頂きますので、大池委員長より指示がありましたらご協力お願い致します。

18.監事予定者講評：(今岡正英)

本日は第4回理事予定者会議ということで、12月の理事会でもありますが、この時期は総務委員会、拡大委員会、そして新年宴会担当の上程が例年行われています。

担当の委員長様方は色々と大変だとは思いますが。

一年の活動指針を決める大事な上程ですので、「例年通りの内容をそのままやろう」というのではなく、次年度全体を見越して自分の色をできるだけ出しやりきって頂ければと思います。

第4回理事予定者会議 議事録

また、本日会員手帳の上程がありましたが、会員手帳は毎年いくら確認しても、必ずミスがあります。

委員会メンバー全員で確認するくらいの気持ちで、入念に確認頂き、ミスの無いようにして貰いたいと思います。

新年宴会に関してですが、今回会食がないということで、準備されていたのに残念だという気持ちはありますが、新年宴会の目的は理事長のお披露目の場であるので、そこに注力頂き、理事長の門出をしっかりと設営して頂きたいと思います。

OBと理事長は勿論、新入会員の皆さんには初めての経験ですので、理事メンバーの方々は新入会員にも気を掛けてもらい「参加して良かった」と思って貰えるような新年宴会にして頂きたいと思います。

以上、監事講評と致します。

19.次回開催日の確認：（歌一行）

1月8日（金）19時より。国際ホテル 同会議室にて実施します。

理事の皆さんは写真撮影がありますので、少し早い時間の集合になるかと思います。

また、詳細は案内致します。

20.閉会：（歌一行）

21. 点 鐘：（安楽城大作）